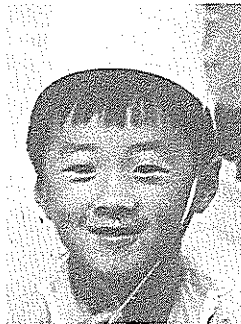


お知らせ版

# 広報 なんこく



## この号の主なお知らせ

■市長の市政報告・9月定例市議会で「高知空港拡張には断固反対する」などあらためて所信を述べた。また、久枝離岸堤、広域農道計画については――。

■災害復旧のその後・建設大臣、久枝防潮堤を視察。早期復旧を約束、離岸堤も来年5月までに。稲生承水溝の改修も補正予算で7千万円が予算化された。

■南国市史の編さん・南国市の創立20周年を記念して「南国市史」を発行。古文書などありませんか。

■南国市展・11月24日から12月1日まで。美術の向上とその意識をたかめ、市民の文化をすすめるために南国市展が開かれます。期間は11月20日。出品規定は――。

■インフルエンザの予防接種・市内各地の医療機関で。

■市民カレンダー・ぜひごらんください。



10/15 1974 No.182  
編集・発行／南国市広報委員会

●43,000人の顔……まちで出逢った人たち

# 空港拡張に断固反対

## ●市長の市政報告

### 久枝離岸堤、三基が確定

#### 広域農道計画は中止

九月定例市議会は二十六日開会、日程を十月五日までの十日間と決め、一般会計補正予算など議案九件、報告二件が提案された。

このなかで、杉本市長は、市長就任後九カ月の市政の現状と方向について市政報告、「高知空港拡張には断固反対する」など、あらためて所信を述べた。



農作業をする目と鼻の先をばく音とともに今日も飛びたっていく(高知空港で)

まず、「昨年来の狂乱物価は市民の生活を圧迫、市の財政運営も困難を極め、市民に大変迷惑をかけていることをおわびする」と前置き。

高知空港の拡張、台風16号による災害対策、広域農道、インフレ経済下の緊迫した財政運営など、次のような市政報告がありました。

#### ★高知空港拡張

「市民生活を脅かす空港拡張に反対」の市民集會が開かれるなど、反対市民運動のあるなかで、六月五日、市民を無視して公聴会を強行。七月十日、拡張に関する全ての手続きは終了として決定告示がされた。この間、県は市民との

対話を数回開いたが、公聴会の終了後に設置した高知空港騒音対策協議会も、八月九日に初会合を開くといったありさまで、市民を無視したものだ。

運輸省は本日(九月二十六日)拡張用地買収を県土地開発公社に肩代りするための覚書きをとりかわすと聞いており、事態はひどく迫っている。

私は、市民の生命と生活を守る立場から空港拡張には断固反対する。

#### ★広域農道

この農道をつけることで約十萬三千平方メートルの農地がふさげ、周辺の農地も宅地化される恐れがあり、衰退する農業にはく車をかけることになる。

決して、悪い影響ばかりではないが、生産の基盤である農地なくして基幹産業である農業の振興は望めない。

また、物価の高騰による労務、資材の三・一・三割アップなどから、市の負担は十三億七千二百萬円にもなり、現在の財政状況では、これに足る余力はない。

このため、広域農道は中止せざるを得ない。

《解説》広域農道は当初計画では総事業費十五億円で、市の負担が一億五千萬円、購入単価の継ぎ足

しを含めて六億五千万円の市費でできるものとされていた。

ところが、異状な物価の高騰でこの五月、事業費の改訂がされ、総事業費十九億七千万円となったもの。そこで、市の経費で負担しなければならぬものが、用地買収の継ぎ分(超過負担分)五億三千五百萬円、残地購入費二千二百二十萬円、農道、水路などの関連事業費五億一千八百萬円、それに総

事業費の一〇割にあたる一億九千七百十萬円の負担をあわせた十三億七千二百三十萬八千円を市が負担しなければならなくなったもの。これは、当初計画の六億五千万円の二倍を上廻る金額になったもので、総需要抑制の経済状況のなかで、市に財政の余力がなく、やむなく計画の中止にいたったもの。

九月一日の台風16号で二百日にわたり防潮堤が決壊した。

★久枝防潮堤

九月一日の台風16号で二百日にわたり防潮堤が決壊した。地元代表者らと建設費、高松建設局に強力に要請、ほとんど目途はたっている。

この二十七日、建設大臣が現地視察する運びとなったので、強力に要請したい。

離岸堤は、来年の台風時までに三基を築く約束をしているが、早期実現のため強力な運動を続ける。

#### ★国分川の改修

多年の懸案事業で早期実現を折衝中であるが、総需要抑制で建設省も予算獲得に困難を極めているようだ。

流域住民の生命とくらしにかかわる重大なことなので、早期実現に努めたい。

《解説》国分川水系は、いままでも多くの災害を被った。特に、四十七年九月十五日の集中豪雨では国分川、同支流域に未曾有の被害をもたらした。

その後の復旧工事のおくれや北部山開発、山林伐採、医大設置による遊水地帯の埋立てなど、このまま放っておくと大惨事のおそれがあるところから原形復旧だけでなく、抜本的な改修を国に要望しているもの。

#### ★九月補正予算

政府の経済政策——日本列島改造論を起爆とする公共投資と内需の拡大政策、大企業がかかっていた「過剰流動性」に対する施策の不在——などが物価の狂騰を生み市民生活を圧迫している。

経済が好転するには、なお相当な混乱が予測され、景気の見通しも困難なところから、地方財政もますます深刻な状況だ。

歳入では、税収の伸びは期待できず、地方交付税も国の緊縮予算のなかで押えこまれている。このため、国・県の補助金、市債などにたより、極めてきびしい情勢だ。歳出は、物価高のため物件費など義務的経費が増え、ひん迫している。

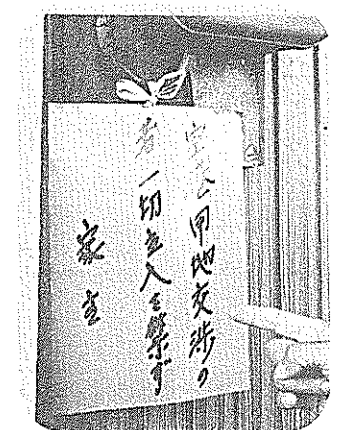
しかし、市民の生命と生活を守り、より市民生活の向上に密着した施策を重点的にとりあげることにした。

また、財源の充実、超過負担の解消など、国・県に要望、市民の要求に応え、住みよいまちづくりに努めたい。

### 空港 拡張 いよいよ用地買収へ 地元、強力な拒否反応

運輸省と県土地開発公社は九月二十六日、「高知空港整備事業に係る土地の取得に関する覚書」

を交換しました。この覚書では、同公社が運輸省に代わって、五十二年三月末までに用地の買収を終ることになっています。



これによって、具体的な用地買収交渉に入ることになり空港拡張は、いよいよ実施段階に入ったといえます。二下田村、下島地区では、早くから部落会を開き「空港用地交

渉の者一切立入りを許さず——家主——(写真と、部落ぐるみで家屋の軒下に看板をとりつける一方、地元民らは「一坪たりとも農地、宅地は売らない」との盟約書をつくり県に提出、強い拒否反応を示しています。また、農繁期で低調だった反対市民連合も役員会を開き、県民ぐるみの総結集会を計画するなど、拡張反対の声が強くなっています。

杉本市長は九月市議会で、市民の生命と生活を守るため「空港拡張には断固反対する」ことをあらためて表明しましたが、市民みんなが空港拡張問題を考えてみたいものです。

#### ★国立高知医大

國豊町小連に連絡所、高知大に創設準備室ができ、五十一年開校を目指している。

地元、國豊町十一地区の住民代表による医大設置対策協議会もでき、地元協力態勢はできた。

また、水道、電力、ガスなどの手配もできた。

周辺の河川、道路などについて

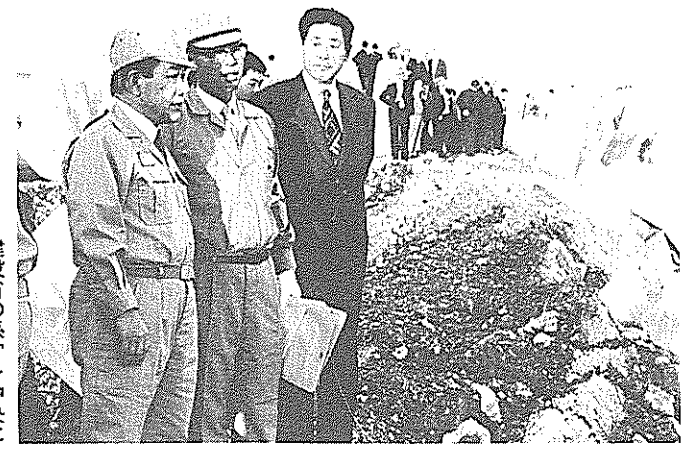
### ●きょうの話題・あすの話題

# 早期復旧を約束

## 離岸堤も来年五月までに

さきの台風16号で決壊した久枝の防潮堤を視察するため、亀岡建設大臣が、九月二十七日空路高知入りした。

大臣は午後五時すぎ、高松建設局長、県選出国會議員ら十五人とともに現地に着き、地元民、地元消防団員ら二百人が見守るなか、被災力所を見て廻った。



建設省の係官を中央に  
亀岡建設大臣（左）と  
杉本市長（久枝現場で）

# 建設大臣、久枝防潮堤を視察

久枝防潮堤は、さきの台風14・15号で一部かん波、続く九月一日の台風16号で二百メートルにわたって決壊していたもの。

そのあと、建設省は台風シーズンのあつて、蛇かごなどで応急の復旧工事をすましていた。

杉本市長、地元代表者らは、台風前から防潮堤の補強を要請、決壊したあとも建設省、大蔵省、高松の建設局などに、防潮堤の復旧と離岸堤の早期着工を強く要請していた。

大臣は、現場の見取り図で、杉本市長、建設省の係官らの説明を受けながら見て廻り、「高知は台風が多いから、早く復旧しなければ」と話していた。

# 稲生承水溝を改修

## 補正予算で七千万円

このあと、杉本市長、地元の本直治氏、堀川和夫市議が、市民を代表して「私たちは、この堤防が、命の守り」だ。一日も早く安心して生活ができるように復旧してほしい」と、二百人が署名した嘆願書を添えて要望した。

これを受けて大臣は「国を守る

ことは、海岸を守ることだ。離岸堤の技術も進んでいる。早期に復旧し、二度と災害を受けることのないようにしたい」と答えた。

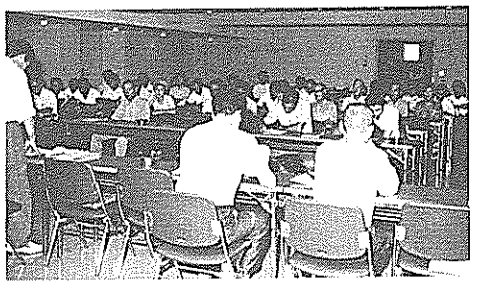
そこで建設省では、台風シーズンの終る十月中旬から来年四月、五月にかけて、五億円で防潮堤を復旧、新たに離岸堤三基を設置することにしている。

「建設局には度々うかがいますから——」杉本市長は高松建設局長を送りながら「みなさんの力がこもってきました」と、地元の人と手をにぎりながら顔をほころばしていた。

# 災害復旧のその後

# 県民ぐるみの結起集会を

## 空港拡張反対市民連合



今後の取り組みを話す市民連合

高知空港拡張反対市民連合（有沢実会長）は九月二十八日、市役所大会議室に役員ら五十人を集め今後の対策を話し合った。

高知空港の拡張問題は、九月二十六日、運輸省と県土地開発公社が用地取得に関する覚書きを交換したところから新しい局面をむかえた。そこで、農繁期などで低調だった反対市民運動に「カツ」を入れるため開いたもの。

まず、有沢会長が現在までの経過を報告。「覚書きの交換で重大な状態になった。地主の結束は勿

論、市民運動をさらに強めたい。」とあいさつ。杉本市長も「空港拡張はダム建設のように、高い価格で補償すればすむものでない。また、周辺整備や騒音対策など部分的なものでもない。南国市を構造的に変革する具体策がない限り納得できない」と、知事にたたしたが、知事は一言も返事がなかった。成田空港は七年たったが飛行機は一台も飛べない。市民の団結の結果だ。市民が苦しみ、被害を受けようとしているとき、市長には法的な権限が何もない。しかし、行政の限界のぎりぎりまで力を尽し、市民とともに力を合わせて阻止したい」と激励。全員討議に入った。

まず、「足元をますまよめる」とが大切だ」と、勉強会を提唱。「状況分析をして、研究会、検討会を開くべきだ」として「各地区

# 親ぼくと福祉向上

## 市身体障害者協議会(前岡繁政会長)主催の第一回身体障害者大会が十月一日中央公民館で開かれ、ことしの事業計画などを決めた。

この会は、市内で障害者手帳をもっている人が約千人いるがお互いの交流がないところから

親ぼくを深め、福祉行政の向上をはかるため開かれたもの。このなかで、あまり知られていない身体障害者の会を広くPRする、各種制度の活用や相談、調査に取り組みことが決められた。前岡会長は「現在、福祉行政が大きくとりあげられているが、身体障害者の問題など経済的にも弱い立場の人が多い。生活の安定、よりよい生活ができるよう頑張りたい」と話している。

での情報交換、分析が必要」と指摘。「独自の機関紙発行や行政広報である広報なんこくで、市長の反対の立場を明らかにすべきだ。」「市庁舎に反対の、懸垂幕」を出すべきだ。など、市民のものにするPR活動が強調されたあと——

「知事を南国市によんで独自交渉をもつべきだ。そして、市民だけの運動でなく、県民運動とすべきだ。」と知事交渉を早急に実施することを確認。

「県下の公害闘争、原子力発電所、宿毛湾開発などの反対運動と交流、全国の空港周辺住民とも手をつないでいくべきだ。」「高知市、野市町、赤岡町、吉川村などの近隣市町村、総評や民主団体にも働きかけるべきだ。」などの意見が、県民ぐるみの「結起集会」を開

くことが決められた。このあと、高知市の坂本浦戸湾を守る会事務局長が「相撲をとるにはまわしが必要。まわしとは資金のことだ。そして、機関紙を発行するなど、市民同士の連帯を広めることだ。役員は請負でなく、市民の一人ひとりが核になることが大切。市民運動の発展が勝利への原動力である。」と激励。

「広島空港では、市民の力でジェット機を飛ばしていない。」「原子力船、むつ」もそうだ。むつ市には権限はないが阻止した。」「政治を動かすのは市民だ。市民個々ではなく市民運動だ。」などが話され、「これからが本番、足元をかため、外部にも働きかけて強力な市民運動を盛り上げる。」と有沢会長が結び閉会した。

# 南国市史の編さん

## 古文書などありませんか

南国市は、昭和54年で満20才になります。そこで、創立20周年を記念して「南国市史」の発行をすすめています。

市は、古い歴史と輝く伝統を持ち、将来性もありますので、重みのある、意義の深い市史をつくりたいと思います。

古文書など、次のような資料がありましたら、ご連絡ください。

市民のみなさんのご協力で、すばらしいものを完成したいと思いますので、よろしくお願ひします。

- 史記 真来
  - 村写 由来
  - 旧地名 特長のある家屋
  - 伝説 由来
  - 古文書 伝説
  - 絵巻 由来
  - 古民話 風俗・伝統
  - その他
- 南国市史編さん係  
(市教育委員会社会教育課内)



10

11

市民カレンダー

10月20日から11月10日まで

	術	生
20(日)	休日在宅医・岡豊病院(岡豊) 高知局66-2345	
21(日)	不燃物の収集(野田)	
22(火)	インフルエンザ(1回目)市内の医療機関で 久礼田乳児検診・14.00~14.30領石支所(生後9カ月~1年3カ月) 不燃物の収集(笠の川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)	
23(水)	インフルエンザ(1回目)市内の医療機関で 不燃物の収集(中島町、沖、三島、吉田、常通寺、江村、小滝)	
24(木)	インフルエンザ(1回目)市内の医療機関で 胃の検診8.30~市役所 大篠レントゲン10.00~10.30明見/11.00~11.30大租工業前/13.00~13.30体育館/14.00~14.30竹中 不燃物の収集(植田、久礼田)	
25(金)	胃の検診8.30~市役所 老成人検診9.30~11.30・13.00~14.30大篠公民館 不燃物の収集(植野、領石)	
26(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)	
27(日)	休日在宅医・上村医院(里改田) 5-8286	
28(月)	前浜レントゲン・9.30~10.30大原ケンピ/11.00~11.30はまこう前/13.00~14.00イツタ神社/ 14.30~15.00南部保育所 大篠乳児検診13.30~14.00大篠公民館(49.4.1~49.8.31生) 不燃物の収集(国府・岩)	
29(火)	後免乳児検診14.00~14.30後免公民館(48.8.1~49.8.31生)	
30(水)	大篠乳児検診13.30~14.00大篠公民館(48.10.1~49.3.31生)	
31(木)	後免離乳食相談13.30~中町公民館 岡豊レントゲン10.00~10.30小蓮西岡スタンド/11.00~11.30笠の川選果場/13.00~13.30岡豊公民館/ 14.00~14.30中島土居タミ店	
1(金)	不燃物の収集(立田)	
2(土)	不燃物の収集(田村)	
3(日)	休日在宅医・山本内科(後免) 4-2576	
4(月)	不燃物の収集(十市) 休日在宅医・吉本小児科(後免) 4-2465	
5(火)	不燃物の収集(里改田、片山)	
6(水)	不燃物の収集(浜改田) 南国市合同慰霊祭・13.00~市立体育館	
7(木)	不燃物の収集・前浜(下島里、下島浜、久枝を含む)	
8(金)	不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野 伊達野、南海学園)	
9(土)	不燃物の収集(篠原、明見)	
10(日)	休日在宅医・山本医院(後免) 4-2545 母子のつどい(母子の運動会)・10.00~岡豊山ハイランド	

## 9月の交通事故

	件数	死者	傷者
9月の事故	15件	0人	18人
昨年(2019)の9月	31件	2人	47人
ことしの累計	201件	4人	281人

## 10月1日号の訂正と変更

▶10月下旬から操業が予定されているゴミ焼却場の焼却能力は1日180tです。1日90tの焼却能力のある機械炉が2基すえられ、1基が故障になっても困ることのないようになっています。▶P8の市民カレンダーの24日の老成人検診と25日の大篠レントゲンが入れ替わり、24日大篠レントゲン、25日老成人検診となりました。時間、場所は従来どおりです。

55 60  
50 55  
75 50  
70 45